

つながり！元気！感動！
～笑顔がつくる明日の平塚～

第52回

子ども大会特集



会長あいさつ

平塚市青少年指導員連絡協議会
会長 相馬 喜昭

令和5年1月1日

平塚市
青少年指導員
連絡協議会

平塚市青少年指導員については
二次元コードから



今期も平塚市青少年指導員連絡協議会会長を務めさせて頂いております相馬喜昭です。ご協力の程どうぞ宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で丸2年間余り全く青指活動が出来ませんでした。増加・減少が繰り返している中、運良くその間隙に合わせ子ども大会を実施した地域からの報告がいくつか届きました。

今回は私が特に皆さんにお伝えしたい内容をそこから抜粋してご紹介します。

①会場である小学校の創立150周年記念と言う位置付けの活動になった事で学校との一体感が得られた。



②3年ぶりの開催で子どもたちに変化が見えた。

①学校敷地内でのスタンプラリーを実施した地域から学校敷地内施設を知らない児童が多かった。特に低学年は入学以来、外で遊ぶ機会が激減していることに起因していると思われる。

②大勢の子どもたちの中に入れない児童がいた。コロナ禍により人と遊ぶ機会が減り、同じ年齢層の子ども同士とはいえ、気おくれ、距離感がつかめなくなっているものと思える。

③教師が子どもたちの極めて心の拠り所となっている感があると感じた。クラス担任ではない教師にもかかわらず、多くの児童からその教師に温かい言葉がかけられていた。

④子どもたちが思った以上にとても元気だった。そもそも皆んなで遊べることを望んでいた。

⑤上級生が下級生に対して気遣いを持って接していた。間違いなく子ども

の成長が垣間見られた瞬間であり、その場に居合わせた子どもたち全員が知らぬ間に良い影響を受けたと思える。

③青指メンバーの変化

①子どもたちをはじめ地域スタッフとリアルに触れ合えて何より生き生き活動出来た。

②青指メンバーからも「笑顔」がたくさん出た。

③青指としての満足感を持ってもらえた。報告としてお聞きしました。



これらの事から、やはりリアルに人と触れ合い活動する事が、人が人である為には欠かせない事であるように思えます。

そして、これらの事が今後の青指活動や特に子ども大会の参考になれば幸いです。

皆さんと一緒に、子どもたちから、青指メンバーから、地域から一日も早く「笑顔」を引き出せる日が来る事を願うばかりです。

花水地区子ども大会

～花水地区青少年指導員～

6月5日（日）、花水小学校にて第52回花水地区子ども大会を開催しました。

昨年度、一昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった子ども大会でしたが、今年度は分散開催・検温と健康観察後に参加・消毒実施・マスク着用での参加（熱中症対策として運動量考慮した内容に変更）など感染対策を講じ、市内全地区のトップバッターとして、念願の子ども大会を開催することができました。



1部は1・3・5年生が対象で、午前8時10分に受付を開始し、午前8時30分～午前10時15分をコーナー体験時間としました。2部は2・4・6年生が対象で、午前10時25分に受付を開始し、午前10時45分～午後12

時30分をコーナー体験時間としました。

企画する側としては、受付の20分間で全員の検温チェックができるのか心配なところでした。実際には花水地区の子どもたちは、自宅での検温結果を記入した申込書をきちんと持ち参り、申込書を持っていなかった子もスムーズに検温に応じてくれました。また、入れ替え時間を10分設けましたが、体験後は速やかに帰宅するなど入れ替えもスムーズに行うことができ、参加者全員が感染対策に協力してくれました。

花水地区の子ども大会は「いろいろな遊びや体験をしよう！」という内容で、地域の団体様にご協力いただき、コーナーを運営していただいています。運動場ではサッカー、野球の体験



と体力測定の実施、体育館ではミニバスケットボール、昔遊びの体験と七夕短冊作成（七夕期間中、花水公民館に

飾っていただきました、体育室では剣道とラダーゲッターの体験、そして中庭では起震車と消火器の体験に加え、ミニズと仲良く触れ合う体験を行



いました。子どもたちはプリントを手元に、「次はここに行こう！」と、学校の運動場・体育館・体育室・中庭を目一杯使って体験していききました。

お陰様で1部に292人、2部に254人、合計546人の子どもたちが参加し、久しぶりに楽しい時間を過ごすことができました。今回初めて参加した青少年指導員が半数以上いたため、運営にも不安を抱えていましたが、参加した子どもの「小学校生活で、今日が一番楽しかった！」と言う感想がすべてを吹き飛ばしてくれました！

ご協力くださいました花水小学校、コーナー参加の各団体様、当日見守りに協力してくださった団体様、本当にありがとうございました。

松延地区子ども大会

～松延地区青少年指導員～

毎年6月第3土曜日は、松延地区の子ども大会です。松延地区の子ども大会が校舎内で夜間開催のお化け屋敷になってから、10年以上になります。5月中旬に開催のお知らせを配布してから、子ども達はお化け屋敷の話題で盛り上がっているようです。夕方5時、まだ明るいうちから、1・2年生、3・4年生と順に遅くなり、5・6年生は暗くなった7時半から。待機場所の体育館から長い真つ暗な渡り廊下を走ってしまう子どもも続出です。入



過去のお化け屋敷の様子

口のお化け屋敷垂れ幕を見て、入場できなくなる子、号泣して保護者にしがみついて出てくる子、5・6年生でも「楽しかった。」と言いなながら涙の跡が見える子。お化け役のおやじの会、

P.T.A、金旭ネット役員の皆さんの演技の素晴らしさが分かります。

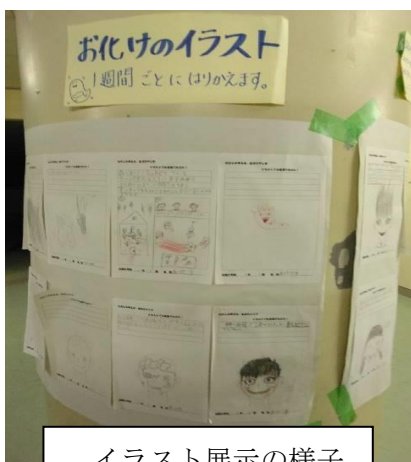


過去のお化け屋敷の様子

そんな子ども大会が中止になってしまった2年前、6年生から「今年で最後のお化け屋敷を楽しみにしていたのに、残念。」と言われ、昨年は、新年度になった時から何人もの子ども達に「今年は、お化け屋敷やるよね？」と聞かれましたが、コロナが終息せず再び中止。6年生がケーブルテレビの学校紹介の取材で「楽しみにしていたお化け屋敷が2年間出来なかったけど来年はやって後輩たちを楽しませてやってほしいです。」と話していた青少年指導員一同胸が熱くなりました。

しかし、今年も密を避けること自体が無理との判断で、お化け屋敷は中止せざるを得ませんでした。その代わりに少しでもお化け屋敷気分を味わってほしくて子ども達にお化けのメイキヤップ・お化け屋敷のアイデアを出してもらおうことにしました。松延小児

童457名の内158名から、257枚の絵が集まりました。詳しく場面設定まで書いてくれた子、何枚もメイキヤップを描いてくれた子、来年度のお化け屋敷のアイデアをたくさんいただきました。描いていただいた絵は、全部模造紙に貼って校長室の前の柱に展示していただきました。毎週張り替えていただき、子ども達も自分の絵、お友達の絵を見つけて喜んでくれているようです。



イラスト展示の様子

来年は、いただいたアイデアを盛り込んで、お化け屋敷が出来るように折っています。

南原地区子ども大会

南原地区青少年指導員

9月17日(土)、湘南ひらつかパークゴルフ場で子ども大会を開催しました。

3年ぶりに子ども大会の企画検討

を進めるに当り、地域の新型コロナウィルス感染症の状況を踏まえ、地域行事(盆踊りや地区レクなど)は今年も中止になっていることを考慮し、小学校での開催ではなく、「みんなで楽しくパークゴルフ体験！」をテーマに屋外で行うことにいたしました。



参加募集は、開催案内を小学校や公民館だよりで配布しますが、参加の申し込みは、スマホなどからQRコードを読み込んでグループフォームからのウェブ申し込みで受け付けを行いました。

新型コロナ対策としては、検温して体調に問題ないことを確認しての参加とし、各自現地集合・解散いただくこととして、午前と午後からのプレーを選択いただきました。

当日は天候にも恵まれ、6家族16名(うち、子ども10名)の参加を得て開催しました。

晴天で気温も上がったので、それぞれペットボトルを持参いただき給水や休憩をしながら、ご家族やお友達と一緒に18ホールを回り、パークゴルフを楽しみました。



消毒やプレーのサポートは青少年指導員のメンバーが行いました。幼児や低学年の子供にはペンシルバールンで作った動物や家族の記念写真をプレゼントしました。





岡崎地区子ども大会タイトル、「オカスタグラム」君の思いを「オカ

岡崎地区子ども大会 ～岡崎地区青少年指導員～

■参加された方からのコメント
 ①本日は本当にありがとうございます
 ました。息子2人はもちろん、母の私もとても楽しく過ごせました！暑い中、色々とお気遣い頂き感謝しております。また機会ありましたら、他のイベントの時も参加させてください！
 ②パークゴルフ家族で参加させていただきました。写真もありがとうございました。今度はポッチャとかやりたいですね。
 ③また企画してください！
 楽しみにしています♪



「オカスタグラム」は既に昨年度、岡崎青指の自主企画として実施、好評を得ており、今回は子ども大会として開催しました。作品内容を自由として、家族との事、好きなアニメ紹介、習い事やペット、やって見たい事や思っている事、絵や写真など様々で児童の皆

スタ」にアップしよう「紙でインスタグラムのようなことをやってみよう」という企画で、展示は岡崎小学校7月4日～15日、岡崎公民館7月23日～31日、おかざき鈴の里8月1日～6日に行いました。屋外で元気いっぱいな運動系大会を開催したいとの思いに変わりはありませんが、長くコロナ禍により難しく、何か児童の皆さんが少しでも笑顔になれることはないかと地区の青指の皆さんで知恵を絞り出した企画です。

さんの個性がとても良く出ていました。岡崎小学校の展示では児童の皆さんから喜びや笑顔が溢れました。他、地域内2ヶ所で展示し地域の多くの方に観覧頂き、明るい地域づくりに貢献し好評が得られました。展示終了後、参加児童の方に参加賞として各児童の作品を記念の台紙に貼り台紙には校長、公民館長、自治連会長、小学校PTA会長、鈴の里会長、青指会長のメッセージと手のひらサイズのトロフィーを添えました。参加児童の皆さんから喜びの声が溢れました。



広報委員のつぎはぎ

コロナウイルスの感染拡大予防に伴い、地域の活動が制限されてしまいましたが、今年に入り、縮小されながらも少しずつ活動を行う地域も増えてい

き、今年は地区により、子ども大会も行っています。数年ぶりの開催ということもあり、初めて参加する指導員もいましたが、開催した地区から多くの子供たちの笑顔が見られたと嬉しい報告を受けています。
 自分も子供の学校や地域活動のお手伝いをさせていただいて、貴重な体験をさせてもらっています。きっと参加をしなければ、今の子供たちとの接点は築けなかったと思っっています。子供の成長の時間は限られています。その限られた貴重な時間をこれからも一緒に過ごせる事を楽しみにして活動していきたいです。

松が丘地区 荻原 智隆

【広報委員会】

委員長	松が丘地区	荻原 智隆
委員	花水地区	高橋 幸宏
委員	豊田地区	伊東 多恵子
委員	神田地区	土屋 裕之
委員	城島地区	南雲 真理子
委員	金田地区	村形 伸一
委員	真土地区	石井 康仁
委員	志三地区	田邊 貴也
委員	松延地区	伊川 眞理
事務局	青少年課	宇田川 純平
		嶋崎 和栄